

ISHINOMAKI

ポテト通信

2024

7



加工用ばれいしょの
現地検討会

ばれいしょの現地検討会を開催しました



現地検討会での抜き取り調査の様子

令和6年6月19日に石巻管内の加工用ばれいしょを生産している5法人のほ場を巡回し、現地検討会を開催しました。各法人やカルビーポテト(株)、いしのまき農協、県園芸推進課、普及センターが参加し、生育状況の確認や今後の管理について検討しました。

今年の生育は、4月上旬の雨により植えつけた種芋が腐り、一部欠株となったほ場もありましたが、順調な生育となっています。

昨年同時期には夏疫病により、茎葉の黄化がかなり進展しているほ場もありましたが、今年は梅雨入り前ということもあり、病気もなく、青々と生育しています。各法人では、病害虫防除の薬剤散布の際に、尿素溶液による葉面散布を行うなど管理が徹底され、黄化期に入っているものの、これからいもの肥大が期待できます。カルビーポテト(株)からは、播種前の耕起・砕土等の準備工

程の重要性及び、補助暗渠や二重明渠といった排水対策の徹底についてアドバイスをいただきました。県内全体でも排水対策の意識が醸成し、80%ほどで明渠や、補助暗渠施工の取組が進んでいます。さらに排水対策を推進して、対策率100%を目指したいとのことでした。

今後大雨によるいもの腐敗の防止や病害虫の対策を継続し、高収量となるように支援を行っていきます！

生育調査結果

(令和6年6月15日実施)

加工用ばれいしょに取り組む生産者が生育状況を把握し、また栽培経過を振り返り、次作の参考にできるように、普及センターでは定期的に「生育調査」を実施しています。

6月15日調査では、「最大生育期」(開花から10日後)の調査を実施し、結果は以下のとおりでした。

なお、7月中下旬には掘り取りによる収量調査を実施する予定です。

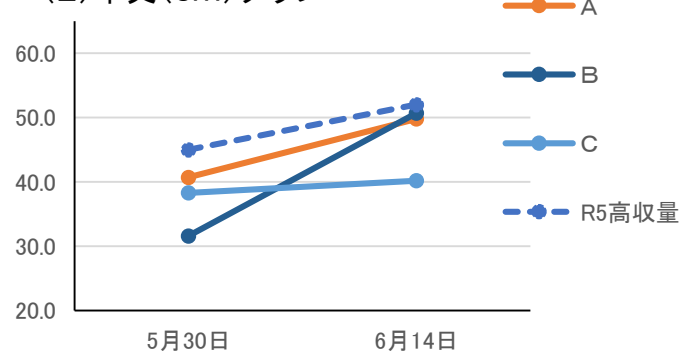
「最大生育期」の生育状況、順調！

- ・例年に比べて平均気温が高く推移し、生育は予想よりも1～2週間前進しました。
- ・調査結果を「R5高収量ほ場」と比較すると、5月30日からの草高の伸びがほぼ一致し、高収量が期待されます。(A社)
- ・20cmの生育は徒長の可能性が考えられます。(B社)
- ・一部ほ場は、初期生育が遅れ、6月2日の大雨の影響もあり、生育が停滞していました。(C社)

(1) 草丈(cm)表

生産者	5月30日	6月14日
A	40.7	49.8
B	31.6	50.7
C	38.3	40.2
R5高収量	45.0	52.0

(2) 草丈(cm)グラフ



種付け期
4月初旬～中旬



萌芽期
5月初旬～中旬



開花期
5月下旬～6月上旬



収穫期
7月中旬～下旬

(生育ステージ)

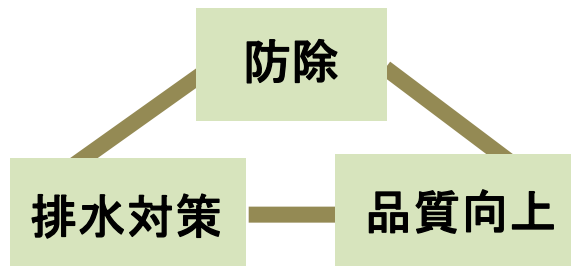


月	5月			6月			7月		8月
ステージ	萌芽期			開花期	開花終		黄変初		収穫
植付後日数	30	40	50	60	70	80	90	100	110 120
萌芽後日数	10	20	30	40	50	60	70	80	90 100

これからの管理

4月初旬に植え付けたばれいしょは最大生育期を過ぎ、生育終盤を迎えました。7月中下旬には収穫適期を迎える見込みです。

次の3点に留意し、良品生産に努めましょう。



(1) 病害虫の防除

梅雨には、夏疫病や疫病等病害による早枯れが発生し、収量の低下を招くことがあります。

6月25日現在、他地域では既に夏疫病が発生していますので、油断なく病害虫の定期防除を実施しましょう。

(2) 排水対策の確認

ここ数年は、梅雨末期の7月20日前後に大雨がありました。

二重明渠など排水対策を再確認し、明渠の崩壊等あれば修復し、ほ場滞水による品質低下を回避しましょう。

(3) 品質向上に向けた収穫時の注意点

令和5年度の加工用ばれいしょでは、一部に「打撲」が見られました。

収穫物を丁寧に扱い、「打撲」や直射日光による「緑化」等の品質低下を避け、良品率を向上させましょう。

なお、石巻地域ではこれまでは収穫したばれいしょを収穫機械上で選別していましたが、今年からはJAいしのまきの屋内選別場での選別が可能となります。

ほかの作業との競合を回避したい場合は、利用をご検討ください。



機上選別の様子



ハーベスターで収穫し、機上で選別

ばれいしょの疾病(夏疫病)に登録のある農薬

薬剤名	希釈倍率	散布量	使用時期	使用回数	FRACコード
リライアブルフロアブル	800-1,000倍	100-300L/10a	収穫7日前まで	3回以内	B5,F4
プロポーズ顆粒水和剤	750-1,000倍	100-300L/10a	収穫7日前まで	5回以内	H5,M
ダイナモ顆粒水和剤	2,000-3,000倍	100-300L/10a	収穫7日前まで	4回以内	C4,U
レーバスフロアブル	1,500-2,000倍	60-300L/10a	収穫7日前まで	2回以内	H5

※プロポーズ顆粒水和剤は、夏疫病にも登録あり



加工用ばれいしょ
平均単収3トン 目指して頑張りましょう！！





植付10日後のさつまいも

さつまいもの 植付について



(農)エコルファームでは、今年も1haのさつまいも栽培に取り組んでいます。

品種は「紅はるか」で、苗はJAいしのまきから購入し、5月31日から4日間に分けて配布となりました。

事前に、無肥料で畝間180cm間隔にマルチを張ったほ場へ、株間40cmで苗を植付しました。

植付作業は、5月31日から始まり、当日配布された2千本を手作業で行いました。

翌日からは5千本ずつ配布された苗を植付し、6月2日の午後からは降雨のため、残った苗の植付は6月5日に行なわれ、配布された苗16,500本の植付が完了しました。

6月2日から3日にかけては、約60mmの降雨がありましたが、ほ場の排水性が良いため長時間滞水することなく植付後の活着及び生育は順調に進んでいます。



降雨後の圃場

定植後の管理

雑草対策と 病害虫防除

植付後の管理としては雑草対策や病害虫防除があります。

雑草対策は、植付後に土壌処理剤や、除草剤をうね間に散布することで、さつまいもの茎葉

が地面を覆うまで雑草の発生が抑えられます。この初期の対応が肝心です。初期の対策を徹底できていれば、それ以上の雑草防除は基本的には必要ありません。植付後の病害虫対策は、ハスモンヨトウやナカジロシタバの早期発見と薬剤散布となります。

さつまいもは、塊根といわれる栄養器官の根が肥大したもので、熟期というものがなく、肥大していればいつでも収穫することができます。収穫適期は、いもの用途と経営上の観点から決まります。

植付後90～150日程度で収穫できますが、130日以上 of 生育期間を確保しましょう。霜に弱い作物でもあるため、宮城県での栽培期間は5月20日から10月15日辺りの5ヶ月弱程度となります。作業スケジュールの確認と、収穫後の腐敗を防ぐために、適期かつ丁寧な作業を心がけましょう。



植付後、順調な生育となっているさつまいも

